

GIFTPAD

カタログギフト屋が、カタログギフトを否定する、
「選ぶ手間」という愛をAIで取り戻す話

Tahara Keisuke

日程：2026-02-27

目次

01 自己紹介

02 みなさん・・・！

03 それでいいのか、カタログギフト。

04 実現するための、アーキテクトを考えてみた

05 この先、どうしていく？



田原 啓介

プロダクト本部 本部長

@tahara_keisuke

2005年よりシステム会社にて基幹系ソフトウェア、医療系・電鉄系の組込みソフトウェアの開発に従事。

その後、WEBサイト・システムへの開発に携わり、2015年にGiftpadへ参画。eギフトのシステム開発から地域通貨アプリ『region PAY』の開発など、Giftpadの主要なシステム・ソリューションの開発運用を統括。

デスク周りのガジェット大好きマンです！

(いいのがあればぜひ紹介してほしい)

— みなさん、

confidential

GIFTPAD

最近、プレゼント贈ったことありませんか・・・？

— みなさん、

confidential

GIFTPAD

何を贈ったらいいんだ・・・！、くっ！！

— みなさん、

confidential

GIFTPAD

そうだ！

 カタログギフトだ！ 

— みなさん、

confidential

GIFTPAD

とは、ならんやる

— ギフトには距離感・想いが大事



家族に、恋人に、友達に、親戚に、知り合いに。
手作りのチョコを贈るのか？ブラックサンダーを贈るのか？
カタログギフトはどこに位置しているのか？

カタログギフトの位置



カタログギフトの位置

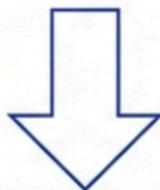


— それでいいのか、カタログギフト。

EFFICIENCY

カタログギフトの功罪：効率の代償

- 失敗しない (Risk Avoidance)
- 圧倒的に効率的 (High Efficiency)
- 物流コスト最適化 (Logistics Optimization)



結果：
とりあえず、カタログギフト贈っとこ。

THE SIN

思考停止という罪

選ぶ行為の放棄
(Abandonment of Choice)

便利さは、実は選択の放棄である。

問い：便利ならそれでいいのか？ 本来のギフトは『感動』ではないか？

なぜいままでできなかったのか？



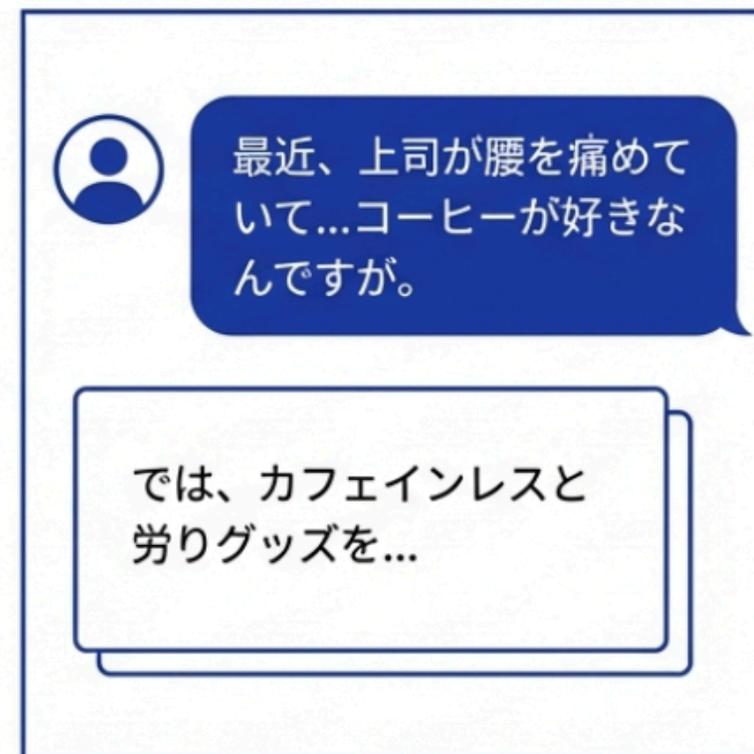
生成AIの登場により、数値化できない『思い』を計算可能にする。

— どうする？ どうしてみる？

検索窓を相談窓口へ



検索



コンサルタント

まとめ

挑戦することへのハードルの低下

テクノロジーの進化（AIやメタデータの活用）が「失敗のリスク」や「技術的な実現困難さ」というハードルを大きく下げてくれたからこそ、私たちは単なる効率化を越えて、あえて「愛」や「人間関係の深化」という本質的で人間らしいテーマに挑戦できるようになった

技術による「人間関係の深化」

AIなどのテクノロジーを単なる「効率化」のために使うのではなく、人と人とのつながりを深めるための手段として活用すること

**手間はかかっても心がこもった温かみのある体験を
知恵と工夫と技術を使って提供することこそ人の大事な仕事**

Thank You